

食品安全関係情報(5月10日～5月23日 収集分※)について

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要 (集計数は、今回/前回)

5月10日～5月23日 収集件数 (合計130/116件) (前回4月19日～5月9日)		国際機関	北米		欧州		大洋州	アジア		中南米等	その他
		WHO・FAO等 (7/8件)	米国 (8/9件)	カナダ (5/5件)	EU、EFSA (40/17件)	各国 (19/25件)	FSANZ等 (6/6件)	中国 (11/6件)	各国 (3/6件)	各国 (1/1件)	報道、論文等も含む (30/33件)
化学物質 (37/31件)	化学物質・汚染物質 (4件)	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0
	食品添加物 (10)	0	2	0	5	2	0	1	0	0	0
	農薬 (15)	0	0	0	12	2	1	0	0	0	0
	動物用医薬品 (2)	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	器具・容器包装 (3)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	その他 (3)	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
	計 (37件)	0	2	0	19	7	2	2	1	0	4
微生物・プリオン・自然毒 (35/37件)	細菌 (8件)	0	3	1	2	1	0	0	0	0	1
	ウイルス (11)	4	0	0	3	1	0	0	1	0	2
	原虫・寄生虫 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	プリオン (9)	0	0	1	1	0	0	0	0	1	6
	植物性自然毒 (3)	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
	カビ毒(マイコトキシン) (1)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	動物性自然毒 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	その他 (2)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (35件)	6	3	2	7	3	0	1	2	1	10	
新食品等 (13/10件)	新食品 (3件)	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0
	GMO (4)	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1
	健康食品 (5)	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0
	アレルギー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クローン (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射線照射 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ナノテクノロジー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
計 (13件)	0	0	3	3	5	0	1	0	0	1	
肥料・飼料等 (5/3件)	肥料 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飼料 (5)	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (5件)	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0
その他 (40/35件)	表示 (2件)	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	放射性物質 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他 (24)	1	2	0	6	3	4	7	0	0	1
	論文情報 (13)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
	計 (40件)	1	3	0	6	4	4	7	0	0	15
海外の食中毒 (0/0件)	細菌 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※収集期間については、主たる期間をいう。

食品安全関係情報(5月10日～5月23日収集分130件)のうち、主なものの紹介

(詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>)をご覧ください)

【化学物質】

- ・ オーストラリア・ニュージーランド食品基準機関(FSANZ)、「アルミニウムと食品」についての消費者向け情報を公表
- ・ 米国食品医薬品庁(FDA)
 - ・ 新規の高甘味度甘味料アドバンテームを認可
 - ・ 高甘味度甘味料に関するQ&Aを公表
- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)
 - ・ 食品中の残留農薬に関する2011年の欧州連合報告書を公表
 - ・ 食品用酵素の安全性評価を今後数年間にわたり計画的に行う旨を公表
- ・ フランス食品環境労働衛生安全庁(ANSES)、食品の残留農薬について、欧州食品安全機関(EFSA)とANSESがそれぞれ報告書を出したとプレスリリースで発表

【微生物・プリオン・自然毒】

- ・ 欧州連合(EU)、豚下痢症に係る暫定的な防疫措置として飼料用の豚由来の噴霧乾燥血粉及び血漿のEU域内への持ち込みを規制
- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)、トウモロコシに含まれるかび毒に関する科学的提言を公表
- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)及び欧州疾病予防管理センター(ECDC)、複数国にわたるサルモネラ・スタンレー集団感染症に関する技術報告書(第3回更新)を公表
- ・ Eurosurveillance : 論説「欧州連合におけるフードチェーンに沿ったサルモネラ管理 - 過去10年間の進展」

【新食品等】

- ・ カナダ農務農産食品省(AAFC)、分子遺伝学による小麦の育種に関する研究について公表

【その他】

- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)、「2014～2016年の多年次業務計画及び2014年次業務計画書」を公表
- ・ 香港食物環境衛生署食物安全センター、一般向けの月刊ニュースレター「Food Safety Focus」2014年5月号を発行